

STAND UP!

うちなだ議会だより Vol.105
平成23年6月9日

議会の新体制 決まる 2- 3
3月定例議会 4- 5
予算審議会 Q&A・新規事業ピックアップ 6- 7
委員会レポート12-13
一般質問14-22
ありゃ~どうなったがいね~23
突撃!街かどインタビュー24



全国制覇に向けて的を絞れ (内灘中学校弓道部)

発行 石川県内灘町議会



議会の新体制決まる！

新議長に夷藤 満氏

5月13日に改選後初めての臨時議会（組織議会）が開かれ、議会改革により3常任委員会から2常任委員会へ改編されました。
町民のみなさま、よろしくお願いいたします。

副議長に川口氏



川口 正己 副議長

議会の融和をはかり、町民と議会の壁を取りのぞき、開かれた議会を目指しがambります。

プロフィール

川口 正己

文教福祉常任委員会副委員長、議会広報対策特別委員会委員長を歴任。

2期。緑台在住
信条：己に正しく



夷藤 満 議長

内灘町民の皆様の熱い期待を胸に、本町の発展と町民福祉の向上に誠心誠意努力をいたします。

プロフィール

夷藤 満

文教福祉常任委員会委員長、決算特別委員長、環境開発対策特別委員長等を歴任。

3期。向粟崎在住
信条：町民参加の町づくり

議会運営委員会

議会の運営や活動のあり方の問題点をとらえて調査研究し、より適正円滑な議会運営を目的に、副議長および常任委員長等で構成しています。

(◎は委員長、○は副委員長)



藤井 良信 生田 勇人 ◎中川 達 ○能村 憲治 川口 正己 夷藤 満(議長)

文教福祉常任委員会



八田外茂男 清水 文雄 酒本 昌博 川口 正己
水口 裕子 ◎藤井 良信 ○太田 臣宣 南 守雄

町民福祉部、教育委員会の調査、審査をする委員会です。

総務産業建設常任委員会



能村 憲治 北川 悦子 中島 利美 夷藤 満
中川 達 ◎生田 勇人 ○恩道 正博 渡辺 旺

総務部、まちづくり政策部、都市整備部、消防本部、会計課、議会事務局、監査委員事務局の調査、審査をする委員会です。

環境開発対策特別委員会 (15名)

委員長 能村 憲治
副委員長 酒本 昌博

監査委員

南 守雄

河北郡市広域事務組協議会議員

中川 達 八田外茂男
能村 憲治 恩道 正博

石川県後期高齢者医療広域連合協議会議員

夷藤 満

内灘町青少年問題協議会委員

太田 臣宣

議会広報対策特別委員会

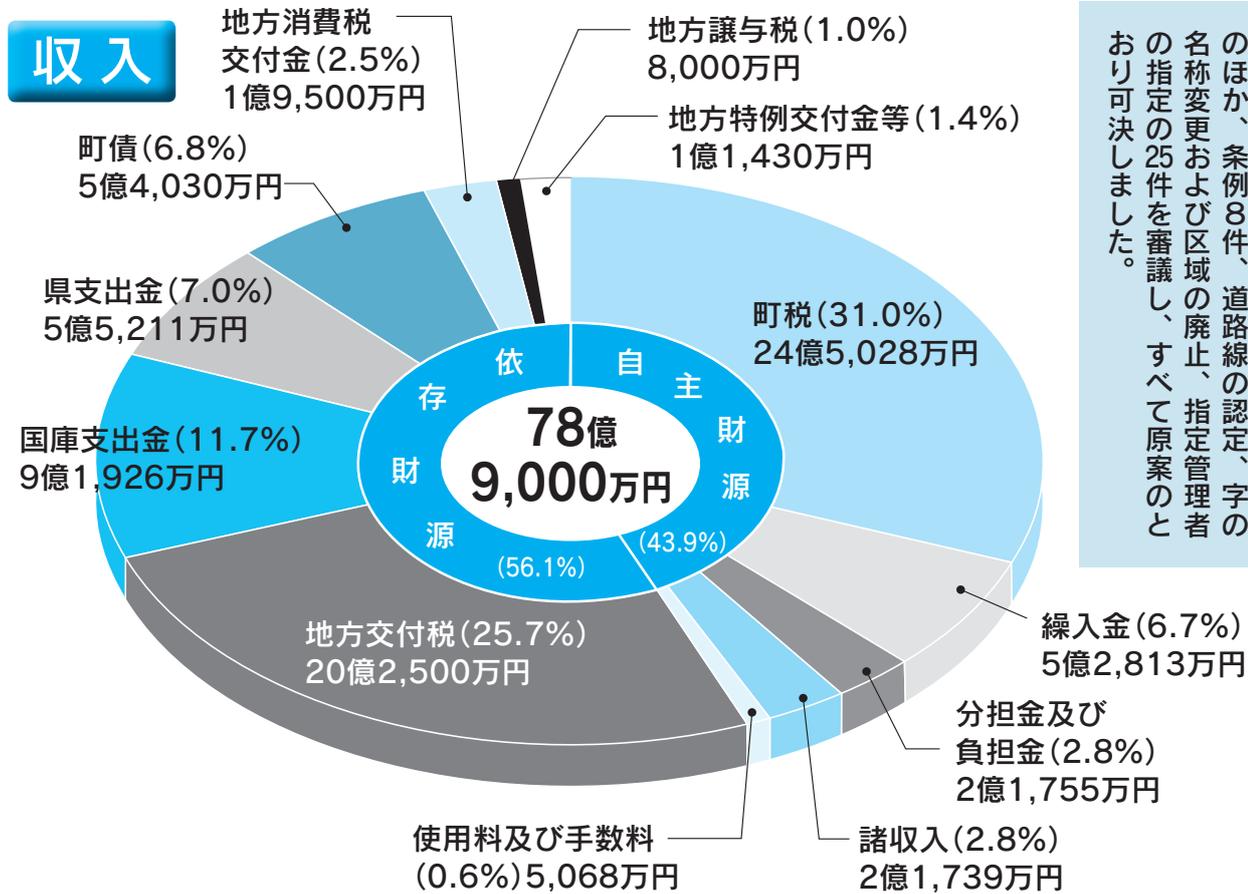


太田 臣宣 酒本 昌博
藤井 良信 ◎中島 利美 ○北川 悦子

年4回発行する議会だよりの、編集・発行を担当します。

を可決!!

3月
定例議会
2日～17日



平成23年第1回定例会が開催され、平成22年度補正予算7件、23年度予算7件のほか、条例8件、道路線の認定、字の名称変更および区域の廃止、指定管理者の指定の25件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。



恋人の聖地 幸せの鐘を鳴らせ

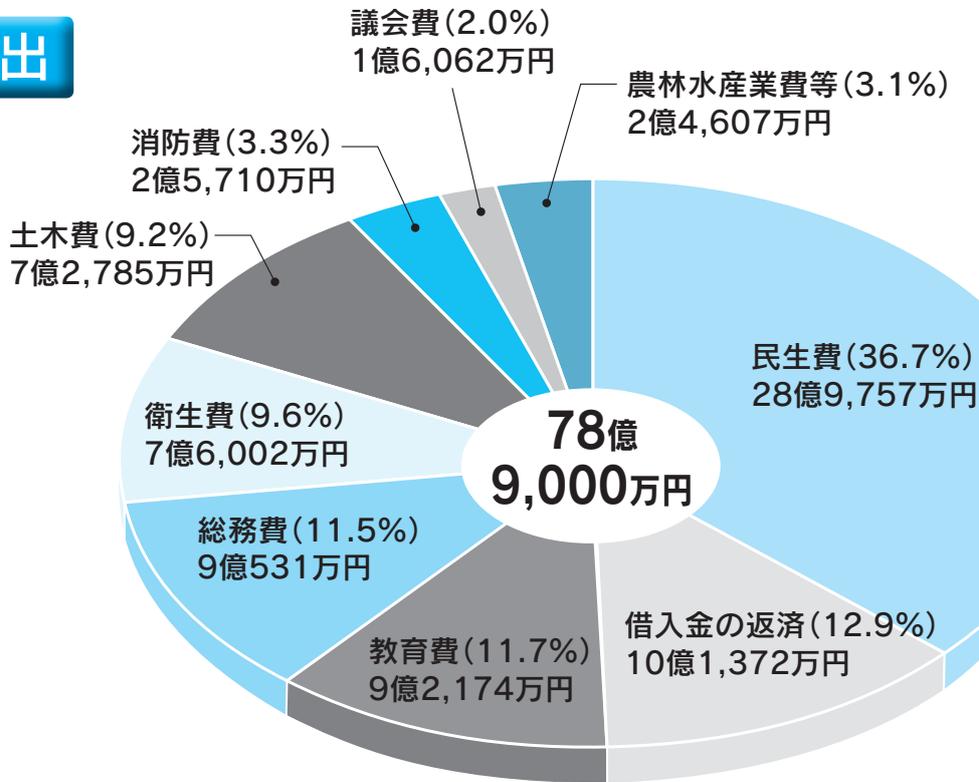
平成23年度特別会計

総額 62億2,770万円

会計名	予算額	前年度比	採決の結果	
特別会計	公共下水道事業	13億7,850万円	15.8%	全員賛成
	新エネルギー事業	3,170万円	△3.9%	〃
	国民健康保険	26億5,340万円	8.2%	賛成多数
	後期高齢者医療	1億9,450万円	1.4%	〃
	介護保険	12億3,080万円	1.5%	〃
水道事業会計	7億3,880万円	3.7%	全員賛成	
合計	62億2,770万円	7.5%		

総額78億9,000万円

支出



町の貯金と借金 (平成23年度末見込)

基金（貯金）の残高		地方債（借金）の残高	
財政調整基金	7億3,181万円	総務関連事業債	8億2,492万円
公用、公共用施設整備基金	1億3,520万円	民生関連事業債	3億6,666万円
義務教育施設整備基金	2億3,924万円	衛生関連事業債	7,760万円
(仮称) 高齢者いきいき健康 センター整備基金	1億3,586万円	土木関連事業債	22億3,491万円
土地開発基金	1億0,198万円	教育関連事業債	20億8,930万円
その他の基金	1億6,172万円	臨時財政対策債	29億9,718万円
一般会計基金の計	15億0,581万円	その他の町債	6億0,317万円
町民1人あたり	56,095円	一般会計町債の計	91億9,374万円
特別会計の基金	6,508万円	町民1人あたり	342,488円
		特別会計の町債	96億1,188万円
		水道事業の町債	9億4,484万円

78億9千万円をどう活かすか

23年度予算を集中審議するための、予算審議会を3月9日と10日に開催しました。総額78億9千万円の予算案に対し活発な質疑を応酬。主な質疑の内容を要約して掲載します。

新規事業を ピックアップ

武道館耐震補強

改修事業

4960万円

調査設計委託料 360万円
耐震工事 2400万円
改修工事 2200万円



耐震改修が始まる武道館

河北潟の水質改善

Q 閉鎖性水域等の水質負荷軽減事業で、堆肥の大規模散布は関係があるのか。

A 有機肥料を使うことによって、水環境を優しい循環型の農業に少しでも近づけるよう努力していく。



大清湖と呼ばれた河北潟

90万円

地区公民館の予算

Q 地区公民館運営費補助金で予算減となっているが。

A 県公民館大会の予算は別に計上している。この補助金は、前年度の葬儀に関するお金が入っており、毎年その分が上下し若干補助金は減っている。



和太鼓で地域交流

1,090万円

安心安全の バリアフリー化事業

Q 車椅子の方が一人で通ることができるとか、実際に現場で確認をしたのか。

A 乗り入れの勾配や、手すりの必要な箇所は確認している。スロープは車椅子で上がれる限界もあるが、できる限り改良を図っていく。



家族で賑わう海族船

550万円

情報化推進事業の システム改修

Q 役場でこれまで使っていた古くなったパソコンはどうするの。

親水空間創造事業

800万円

蓮湖渚公園の水質浄化実験水路を整備し、地域住民が河北潟や環境に関心を持つ取り組みを行なう。



子どもたちの未来のためのビオトープ
(蓮湖渚公園)

予防接種事業

2570万円

1割の自己負担分
子宮頸がん 16000円
ヒブ 8000円
小児用肺炎球菌 10000円
でワクチン接種が出来るようになった。

エコエネルギーシステムの補助金

Q 設置の補助金は、システム単価を減額したのか。

A 設置単価が下がっており、全国的な金額等を勘案して上限を引き下げ幅広く利用してもらえようとした。

- ・太陽光発電 (1KWあたり) 5万円
- ・エコファイール (1台あたり) 1万円
- ・エコジョーズ 1万円
- ・エコキョート 2万円
- ・新ペレットストーブ 2万円
- ・自然循環型 1万円
- ・強制循環型 2万円
- ・新太陽熱利用システム 2万円



自然エネルギーシステムの街灯
(省エネに取り組む役場庁舎)

570万円

その他の新規事業

- 消防救急無線デジタル化負担金 95万円
現行のアナログ方式をデジタル方式に移行する
- ICT救急画像伝送システム整備費負担金 72万円
救急車に搭載の医療画像システム
- 全国瞬時警報システム (Jアラート) による情報メール配信システム使用料 25万円
- 第5期介護保険事業計画および高齢者福祉計画策定業務 210万円
- 猫の避妊および去勢手術助成金 15万円
避妊 3,000円、去勢 1,500円
- 転入祝いポイント贈呈事業 77万円
金沢医科大学生が住民登録した場合、ポイント付サンセットカードを贈呈
- 内灘中学校図書整備業務 105万円
業務内容は、図書にラベル・バーコードシールを貼り、ブックカバーの装備等を行なう
- ICT支援員の配置 378万円
講師派遣等
- 機具橋改修事業負担金 400万円
機具橋延命化を10年程度図るための調査
- 河北潟ゆうきの里改修補助金 326万円
設置後10年を経過した施設の大規模修繕 (3カ年事業)
- 産地競争力強化事業補助金 105万円
小松菜の安定生産と契約数量の拡大を図る

2,790万円



古くなったパソコンは学校での活用を

A 新年度からのシステムは新しいもので対応したい。学校管理用のパソコン台数が不足しているので使えるものは教職員用に使う。

屋内温水プール 施設改修に 1,000万円

一般会計は、6,553万5千円を追加し、総額を85億1,750万6千円となりました。(全員賛成)

主な内容

エアコン設置事業

410万円

町立保育所	向粟崎	4部屋	95万円
	鶴ヶ丘	3部屋	75万円
	鶴ヶ丘東	2部屋	55万円
	北部	3部屋	75万円
学童保育	向粟崎	2台	70万円
	北部	2台	40万円

小学校図書室整備事業

570万円

向粟崎小学校の図書室にテーブル 10台、椅子60脚を購入する	100万円
各小学校図書室の貸出・返却等を効 率的に処理するシステムを整備する	290万円
向粟崎・大根布・西荒屋小学校図 書室の窓ガラスに遮熱塗装をする	80万円
各小学校に学校図書を購入	100万円

新学習指導要領対応事業

970万円

先生用の指導書・教科書を整備する	590万円
指導用の教材を整備する	380万円

小学校施設改修事業

500万円

清湖小学校の放送設備を更新する

河北潟 UFO 事業

2,094万円

河北潟に太陽光発電によるソーラー環境セン
サーを導入し、濁度等の水質データを無線通信
でデータ蓄積・公開する

図書館整備事業

1,180万円

文化会館2階に児童図書室を 整備し、1階会議室を改修する	980万円
図書を購入する	200万円

港湾改良事業

270万円

石川県が600万円をかけて、向粟崎1丁目
地内の漁協周辺地区で浸水解消のため調査・測
量する内灘町の負担金

大根布地内公園整備事業

1,500万円

大根布保育所跡地に公園を整備する	
設計業務	150万円
解体工事	550万円
公園整備	800万円

会計名	補正額	補正後の予算総額	
一般会計	6,553万5千円	85億1,750万6千円	
特別会計	公共下水道事業	△1,768万円	11億7,497万8千円
	新エネルギー事業	12万8千円	3,431万5千円
	国民健康保険	785万6千円	27億5,673万8千円
	後期高齢者医療	△623万9千円	1億8,612万円
	介護保険	4,038万6千円	12億6,215万9千円
水道事業	△2,636万2千円	6億9,297万5千円	
合計	6,362万4千円	144億5,728万3千円	

総合公園の広場整備事業

350万円

サイクリングターミナル前の広場で、駐車場の区画線を消し、絵を描く整備工事

屋内温水プール施設改修事業

1,000万円

冷房用機器の取替え、更衣室等の保温対策工事、プールの目地を修繕する 700万円
トレーニングマシンを購入する 300万円



施設改修される屋内温水プール

条例

職員の子育休休業等の条例

嘱託職員を加える改正

非常勤の職員の公務災害保障等の条例

国の関係法令に伴う改正

常勤の特別職の給与の条例

引き続き特別職、教育長の給料額を二パーセント減額し、期末手当支給における引用条文の改正 (全員賛成)

特別会計条例

老人保健特別会計を削除する改正

歴史民俗資料館等の利用料金の条例

障害者等を入館料の免除対象に加える改正 (全員賛成)

乳児および児童の医療費助成の条例

入院に係る助成を中学生まで拡大する改正 (全員賛成)

ひとり親家庭等の医療費給付の条例

健康保険法に伴う改正

霊園条例

管理料を二年分一括から毎年納入に変更する改正

道路線の認定

大野川緑のアメニティ(向栗崎2丁目)の2路線を追加する。

字の名称変更

内灘温泉病院の駐車場が「宮坂に」だったものを「白帆台」に変更する。

管理者の指定

内灘町公共施設等管理公社が総合公園展望レストランを指定管理する。

予算・条例の討論

●平成23年度内灘町国民健康保険特別会計予算

反対

北川悦子議員

国民健康保険税の引き上げ案は据え置かれたが、国民健康保険税の歳入はそのままになっている。差しかえる必要がある。

賛成

生田 勇人 議員

条例改正も伴うので、6月議会以降に歳入歳出予算の改定、補正を行ないたい。これは滞納額が膨らんできたため、それを町民に広く周知し、議会で検討していくべきだ。

●平成23年度内灘町後期高齢者医療特別会計予算
●内灘町特別会計条例の一部を改正する条例

反対

北川悦子議員

政府は制度の廃止を先送りし、それまでは継続させる方針を打ち出した。後期高齢者医療制度を速やかに廃止し老人保健制度に戻し、それに伴う国保の財政負担を国が補てんすべき。

を採択

■採択

東北地方太平洋沖地震の緊急災害対策を求める意見書

(全員賛成)

提出議員 恩道 正博

賛成議員 藤井 良信 夷藤 満

趣 旨

被災者の救済を速やかに進め、地震、津波、原発事故等による被害の拡大を最小限にとどめ、国民に対し、正確な情報を提供するとともに被災地の復旧・復興対策について、財政的支援をはじめ、新たな立法措置など万全な措置を講ずるよう強く要望する。

提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長



国会議事堂

あなたの請願

■継続審査

「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める

1回目

請願者

能登民主商工会 会長 亀崎 正蔵 (羽咋市)

紹介議員 北川 悦子

請願要旨

地域住民が地元業者を使って住宅のリフォーム等を行なった場合、その経費の一部を自治体が助成する制度。住民が住宅などの改善をすすめるきっかけをつくり、中小企業者の振興を促し、地域経済の活性化に寄与する目的。

(継続に賛成14人、反対1人)

保険税の値上げに直結する国保広域化に慎重な対応を求める

1回目

請願者

石川県社会保障推進協議会 代表委員 清水 巍 (金沢市)

紹介議員 北川 悦子

請願要旨

新しい高齢者医療制度の検討は、国民健康保険制度の広域化にとってかわり、現在都道府県単単位化に向けて議論されている。広域化されれば、保険税の大幅値上げが予想される。現在以上の値上げは、住民の暮らしをさらに困難にして地域経済にも大きな影響をもたらす。

(継続に賛成14人、反対1人)

採択

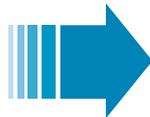
海岸利用のルールづくりを早急に求める意見書

(全員賛成)

提出議員 産業建設常任委員会委員長 恩道 正博
趣 旨

自然環境の保護とともに地域住民や来訪者にとっても安全で快適に海岸を利用できるよう、他の利用者の迷惑となる行為の制限や海岸環境へ支障を及ぼす行為の制限、また自家用車等の乗り入れなど、地域の特性に応じた海岸利用のルールづくりが必要不可欠だ。

このことから、海岸管理者である石川県として、海岸保全区域の市町と協議し、内灘海岸をはじめとする県内海岸について、海岸利用のルールづくりに向け早急に取り組むことを強く要望する。



提出先

石川県知事
石川県土木部河川課長
石川県議会事務局長



石川県庁

審査しました

米価の大暴落に歯止めをかける

2回目

(継続に賛成14人、反対1人)

後期高齢者医療制度をただちに廃止し、国民の誰もが、安心して受けられる医療制度にすることを要望する

2回目

(継続に賛成14人、反対1人)

石川県乳幼児医療費助成事業補助金交付要綱の一部改正を求める

2回目

(継続に賛成13人、反対2人)

請願の討論

●「石川県乳幼児医療費助成事業補助金交付要綱の一部改正」の意見書を石川県に提出することを求める請願書

反対

水口 裕子議員

今は領収書を1年だけでなく2年ほど集めて、郵送すれば償還できる。窓口での交付を広げていくよりも、むしろ年齢拡大をしたほうがいい。

賛成

北川 悦子議員

石川県議会において、県医師会から子どもの医療費の完全無料化を求める請願書が可決された。子どもの医療費を中学校卒業まで完全無料化し、支給方法は現物給付するべきだ。

総務常任委員会

新幹線開業に向けて

町の方向性は

Q 県は北陸新幹線金沢開業の効果を石川県全体で共有したいとのことだが、その方向性はどのように進むのか。

A 金沢を中心とした中央広域圏（内灘町を含む）3市3町で中心部分をやるとのこと、連絡協議会があり、県はオブザーバーのようなスタンスに現状はなっている。

Q 連絡協議会はどのような組織になっているのか。

A 中央広域圏の商工関係、町会関係、女性団体などで各部会を設置し、もてなし部会、観光交流部会、農業部会の3つがあり、町行政側からも産業振興課の職員が参加している。



新幹線金沢開業に向けて町の取り組みは

Q 今後の可能性はどうか。

A 各部会での検討項目が決めてあり、案を出し合いながらその結果を会議に挙げていく。実施計画は、民間の方の意見をお借りしたい。

また今後、内灘魅力発信行動計画に基づき、具現化へ年次計画を立てて取り組みたい。

文教福祉常任委員会

後期高齢者医療

人間ドックの

助成はあるのか

Q 後期高齢者医療制度では人間ドックを受ける場合の補助はあるのか。

A 1泊2日で5万円の補助がある。

Q ファミリーサポートセンターは、いつから病児、病後児保育をするのか。

A 23年4月より実施する。基本的には、サービスを提供する会員の自宅で預かる。

Q テニス場、野球場等の使用者に対して、ほのほの湯の利用割引を考へてはどうか。

A 公共施設等管理公社と協議していく。

Q 温水プール断熱化対策工事はどのようなことをするのか。

A 屋根は複層ガラスに変更し、更衣室と採暖室は優先順位を決め行ないたい。

Q 保健センター調理実習室は利用しているのか。

A 保健事業や栄養指導、また健康づくり推進委員等が利用している。



カンガルームで行なわれたコンサート

産業建設常任委員会

海浜清掃で

海藻類は拾わない

Q 多様性植物保護の観点から、海浜清掃で海藻類は拾わないで残すべきではないか。

A 今年度の海浜清掃時に、周知していきたい。

Q 機具橋改修工事の着工時期は。

A 今年度実施設計を金沢市に委託し、補強改修は来年度着工の予定。

Q 家庭用雨水浸透・貯留施設の設置について、設置数をふやすことが必要なのでは。

A 新築家屋を含めてPRの方法を検討し、設置数の増加に努めたい。

Q 策定予定の水道ビジョンの内容は。

A 概ね10年間の中長期的な基本計画を策定する。内容は、事業の現状分析・評価、将来像と目標を設定し、実現に向けて検討を行なう。

Q 向粟崎2丁目まちなみ整備で、しようずを活用した施設はできないか。

A しようずを活用した親水空間を検討したが、水量が少ないため困難である。

環境開発対策特別委員会

遊歩道での自転車通行は

Q 遊歩道で自転車通行は可能なのか。危険を感じたことがある。

A もし事故にあったときどうなるか。

A 現在林帯遊歩道はバイクの乗り入れは禁止しているが、自転車は禁止していない。事故にあった場合は当事者間での賠償となる。安全第一に今後検討する。

Q 自転車シェアリングのNPOプロジェクトがあるが、今後も協力していくのか。

A 金沢市のNPO団体が実施しており、町は昨年より協力している。

Q こういうプロジェクトをもっと町民に広げることが出来ないのか。

A NPOもいろんなルートを使って情報発信している。昨年はホームページ等を通じて、町としても呼びかけた。今年度も広報を通じて呼びかけたい。

Q 駅周辺の町有地で貸し出している駐車場は何台分利用されているか。

A 7台中3台利用している。



実施設計は金沢市に委託する機具橋



自転車での通行は細心の注意が必要



能村 憲治 議員

融雪装置の設置を急げ

除雪対策を根本から検討する

町長

能村 今年の除雪は、多くの町民から「対応が遅い、一度だけ上つ面を除けただけで踏み固められスコップもたたなかつた」などの意見、苦情が寄せられた。

機械除雪は限界に来ていることから融雪を強く要望する。

町長 これまでにならない気象状況であり圧雪状態となつて町民には不便をおかけし、おわびする。年々除雪機械の確保が大変難しくなつてきており、町内の消雪装置も老朽化している。

機械除雪および既存の消雪設備も含めた消雪施設のあり方を根本から検討する。

能村 雪もなく晴天の早朝、医科大通りで融雪装置が作動し水が散布されていた。大変危険である。

都市整備部長 検知センサーの誤作動がないよう調査する。

能村 町が水道水用に掘った井戸は、すべて使用されていない。融雪に使用せよ。

都市整備部長 消雪井戸確保手段として有効。装置のあり方全般を調査研究する。



除雪体制は万全なのか

能村 機械除雪配置の適正および除雪機械の能力はあったか。

都市整備部長 今回の作業状況を踏まえ、業者に對しより一層の充実を指導する。

除雪対策基金の設置を

能村 積雪がなく機械の出動のない年がある。このような時、使っていない予算を戻さずに基金として積み立てる方法、予算が余れば来年、再来年と積み立てていき、雪の多い年にはこれらを取り崩して除雪費用に充てるという除雪対策基金を設置せよ。

厳しい財政状況で難しい

都市整備部長 除雪対策基金の設置は、今のところ厳しい財政状況であり難しい。

水口議員から上水井戸の目的外使用について関連質問がありました。

能村 新エネルギー事業（風車）は19年度から赤字が続き、総額で1800万円にもなる。対応策は、**都市整備部長** 風車の維持管理体制を整備し、経営の改善に努める。



藤井 良信 議員

新しい産業創出を示せ プラチナ社会構想を進める

町長

藤井 昨年、人間を起点とした新しい暮らしをデザインする「プラチナ社会構想」についてのセミナーが開催された。

町長 三菱総合研究所では21世紀の新たな社会像の中で、新しい産業や雇用を増やし、いつまでも錆びず、プラチナのように輝いていこうとの新しい考え方があり、この構想を進めていこうとするプラチナ社会研究会との共通意識を持つ128の企業、39の大学、64の自治体が参画している。



成年後見制度利用は窓口で相談を

藤井 プラチナ社会研究会セミナーでは、袁副町長が講演されたが、内容はどのようなものか。

副町長 金沢医科大学と連携して脱・無縁社会の実現を目指したいという思いを述べてきた。

藤井 独居高齢者の方々に、除雪費用についての補助の考えはあるか。

町民福祉部長 地域コミュニティの推進と脱・無縁社会の取り組みの中で今後検討する。

藤井 買い物弱者対策として、宅配応援チケットの配布を要望する。

町民福祉部長 商工会と協議の結果、宅配サービス事業は現段階では難しいと考えている。

将来の安心のため

藤井 認知症を抱えている家族が将来の安心のために、今のうちから後見人が選任できる成年後見制度が平成2年に制度化されている。

町民の方々の認識と情報の共有のことから改めて、その制度について質問したいと思うが、どのような制度か。

後見人が保護 支援を行なう

法定後見では認知症高齢者や知的障害者など、精神上的の障害により判断能力の十分な方への財産の管理や、介護施設の入所契約などで、本人に不利益な契約を結ばないよう、家庭裁判所から選任された後見人が保護や支援を行なう制度。

藤井 任意後見人制度についてはどうか。

将来の後見人候補者を事前に選任し、療養看護や財産管理の代理権を与える制度。

藤井 この制度の申立て手順を示せ。

申立ては本人、配偶者、四親等以内の親族、市町村長に限られ、家庭裁判所に申立書類の提出が必要。

藤井 後見人選定のための費用はどの位か。

費用は申立て及び登記手数料などで5千円から2万円位。

藤井 お金がないからこの制度の利用を諦めている人もいると思うが。

家庭裁判所の決定に基づいて、町の中額負担措置もある。



清水 文雄 議員

安らぎある町づくりを 町長 誘致活動を続けたい

清水 町は、企業誘致で白帆台地区以北を開発して、**アウトレットモール**の誘致に力を入れている。開発よりも町が金沢市のベッドタウンとして、地元の商店を大切にしながら賑わいをつくり、年をとっても安らぎと安心・安全に住める町づくりを進めるべきだ。

町長 アウトレットモールの誘致は、固定資産税や法人町民税の税収確保や雇用創出、さらには北陸にはない業態で、大変重要な取り組みだ。商圏が小さく、優先順位は低いですが、引き続きチャンスをねらいながら誘致活動を続けたい。

清水 町とプラチナ社会研究所は、どのような共通の理念に基づき、事業を進めるのか。

町長 まちづくりの基本テーマである5つのKに關係し、目指す方向は同じであると感じている。



整備が中断している準幹10号線（内灘高校横）

清水 町民目線で、主体を町民に置いて進めるべきだ。

町長 町民の皆さんと共に、プラチナ構想を本当の意味で実現できるように頑張っていきたい。

清水 高齢者の交流活動の場として、内灘高校の約20室ある空き教室を利用できないか。

生涯学習課長 学校や県教育委員会等と協議すべきことが多いので、課題の整理をしたい。

用地買収交渉を再開せよ

清水 千鳥台5丁目は現在、67区画のうち、既に50数区画が埋っており、準幹10号線（内灘高校横）を通って千鳥台5丁目におりる（道路）の整備は不可欠だ。用地買収が難しく整備が中断をしているが、整備に向けた用地買収交渉を再開すべきだ。

関係機関と協議し、再開したい

都市整備部長 全体整備計画を進めるため、能登有料道路の直線化、4車線化を見据える。

周辺区域及びコンフォモールの開発状況も踏まえ、各課題を整理し、関係機関と協議を行ない、用地交渉も再開したい。

清水 コミュニティバス「ナデイ」は、運行ルート等の見直しはいつか。

まちづくり政策部長 現在の運行委託期間が終了する、平成25年1月に改正したい。

清水 北陸鉄道浅野川線の利用拡大や、北陸新幹線開業とあわせ、利用促進の検討が必要だ。

まちづくり政策部長 持続可能な公共交通にするための、基本的な方針を今後検討したい。

アウトレットモール とは、1980年代にアメリカで誕生した新しい流通業の形態で、主にいわゆる「メーカー品」や「高級ブランド品」を低価格で販売する複数の店舗を一箇所に集めモールを形成したショッピングセンターのこと。

軽減を図るチャンスだ

状況を確認し検討する

町長

誘致期限の

設定を

生田 石川県は能登有料道路大根布白尾間において、総事業費33億円の4車線計画を発表し、平成23年度から事業に着手する考えを明らかにした。

インターチェンジ（IC）計画を抱える当町にとって、町負担の軽減が図られる大きなチャンスだ。

4車線化計画とあわせて町IC計画を作成し、県に提示する考えはないか。

町長 町負担軽減を図ることは非常に重要なことである。

今後、さらには北部地区開発計画、さらには商業施設誘致に関する意向調査などの情報収集に努めながら、能登有料道路4車線化事業の整備状況を確認し調整を図り、現計画である白帆台IC建設地の適地と着手時期を検討したい。



IC計画を県に提示せよ

生田 住民が求めるものは、ICと共に、町が取得した白帆台商業用地の商業施設誘致だ。

町が取り組むアウトレットモール誘致。その誘致場所によってICの取付位置や形状、時期も変わる。県計画の4車線事業が4カ年で完了とする中、アウトレットモール誘致とIC設置の目標期限を決めて取り組め。

時間をいただき

努力

町長 北部の活性化のためだけでは、費用は地元負担となる。

河北郡市や県内全域にとってプラスになる計画が、県支援の判断基準となる。

時間がかかるかもしれないが、アウトレットモール誘致の可能性がある限り、フルインター設置計画で取り組みたい。



生田 勇人 議員



中川 達 議員

企業誘致の現況を問う

接触を重ねる

町長

中川 アウトレットモール
の誘致、白帆台の商業
施設の誘致、そして今叫
ばれているコンフォモー
ル横の専門学校誘致、
これら現在の進捗状況を
示せ。

町長 アウトレットモー
ルの誘致の状況は、企業
との接触を重ねながら、
現在、北陸進出の際の候
補地の一つとして検討し
ていただいている。
平日の誘客が見込める
産直市場など誘致できれ
ば、アウトレットモール
を誘致する上でさらに有
利になる。それらの出店
情報を収集している。

中川 出店情報を見ると、
今の状況ではまず出店し
ない形だ。詳細な資料が
出ているのか。

都市整備部担当部長
詳細なものを出しており、
調査企業出店一覧表は町
が作成した。

中川 委託業者との契約
内容は。

都市整備部担当部長
(株)エムプレーンと180
万円で3月まで情報収集
の契約をした。



恋人の聖地 モニュメント

中川 企業推進室を立ち
上げて以来、何社の企業
に問い合わせたのか。

都市整備部担当部長
衣料関係のベンチャー企
業、中国地方でリハビリ
テーション経営の方2社
と接触をしている。

中川 企業に対する町の
PR用DVDは配布した
のか。

都市整備部担当部長
情報収集委託業者に配付
し、企業に訪問する際、
活用している。

的を絞って 取り組み

中川 昨今の厳しい経済
状況の中、まず的を絞っ
て取り組み形が示されて
いない。

地域の理解を得るよう
なもののづくり、人づくり、
そして企業づくり、産業
づくりが必要だ。

企業の誘致に対する取
り組みの姿勢、そして雇
用の創出というものが最
も大事だ。

商工会とも連携

副町長 アウトレットモ
ールから、複合的に相乗
効果が出るような施設を
望む声を受け、情報収集
を委託している。

コンフォモール一帯の
誘致は、所有者の(株)ゲオ
エステートと空き店舗を
どうしたいか、商工
会の中で説明会をする段
取りをつけている。



水口 裕子 議員

条例の意義を広めよ

学び合う場をつくる

町長



自転車持ち込みオッケー！

水口 男女平等思想に基づき男女共同参画が実現されるまちづくりのために、「町民の英知と努力の結集を」とうたい上げた内灘町男女共同参画まちづくり条例の意義は広まってきているか。

町長 すべての人々が幸せに暮らせるための基礎的な条件を整えるための条例だ。今後とも理念をしっかりと伝え、人が地域をつくり、地域がまた人をつくる、そんな循環をもとに、ともに学び合う場をつくっていく。

水口 男女共同参画室が1名になり、専任ではなくなった。復活させよ。

町長 今後広く住民レベルでの事業展開を進めるため、鋭意努力する。

水口 公務員は給与も待遇も男女平等。女性職員も管理職に登用を。

副町長 女性にもぜひとも管理職になった立場で仕事をしてほしい。

水口 まちづくり基本条例は町の憲法。町民への浸透が行き届くのか。

まちづくり政策部長 町民会議での議論や、パブリックコメント等で検討していく。

水口 予算説明書「もつと知りたい今年の仕事」は、限られた人だけのものになっている。

企画財政課長 作成部数をふやす。

農林通産省

からの通達

水口 平成21年1月23日に農林水産省から、農業委員会は総会などの終了後、速やかに市町村個人情報保護条例などに留意の上、審議過程のすべてを要約することなく、詳細な議事録を作成し縦覧に供すること。

当該議事録について市町村のホームページなどにより公表することの通達があった。

再度通達する

産業振興課長 農業委員会に通達が来ていると再度連絡する。

水口 内灘町情報公開条例には幾つかの問題がある。改正せよ。

総務部長 解釈運用基準があり、条例の改正は考えていない。

水口 羽昨では通達により議事録を公開、費用は国からの補助金。

産業振興課長 今後調査する。

水口 北陸鉄道浅野川線への自転車持込乗車の調査は。

まちづくり政策部長 3月16日から再開し11月30日まで実施。

水口 職員が金沢に行くとき何を利用しているか。

まちづくり政策部長 職員研修等は、公用車から電車に変えてきている。



恩道 正博 議員

町の魅力アップを図れ

町長 魅力発信行動計画を策定する

恩道 平成26年度末の新幹線金沢開業を控え、首都圏からの観光客が金沢から能登、加賀温泉郷を周遊する観光客の増加が見込まれる。
観光客を引き寄せる町の魅力アップのため具体的な取り組みと誘客に向けた施策を問う。

町長 新幹線金沢開業に向け、町独自の年次行動計画を盛り込んだ「内灘魅力発信行動計画」を今年度中に策定する予定。
具体的には、恋人の聖地振興事業を中心に関連商品の開発、観光ポスター、パンフレットの作成、イベントの開催、案内看板の整備に取り組む。

恩道 金沢市では既に平成19年に「金沢魅力発信行動計画」を策定しているが、町の計画が遅い。

町長 あと3年の期間内で、町民のご意見、ご協力を賜り全力投球で町の魅力発信に向け取り組む。



元気はつらつ健康クラブ交歓大会

課題への対策と成果は

恩道 昨年の3月議会で、高齢化社会に向けた町の医療施策についての私の質問から、生活習慣病の原因で医療費が高額になることに今後の健康施策の課題であるとの答弁であった。

この一年間、特定検診の受診率向上の対策とその成果を問う。

さらなる受診率の向上に努める

町民福祉部長 各種団体への出前講座、健診期間中は広報活動の実施。集団健診を土日に3回実施、未受診者には再度受診案内を通知し、電話での受診勧奨も行なった。新たに追加健診を2月に実施している。

その結果、前年度37%に対し、今年度は現時点で40%となった。

恩道 町での特定検診の受診率目標は。

町民福祉部長 最終評価の平成24年度65%の到達には、さらなる対策が必要となる。

恩道 特定検診後の保健指導体制の現状を問う。

町民福祉部長 23年度から金沢医科大学病院と地域医療機関等と連携を進め、早期指導に取り組む。

国保引き上げは悪循環

できる限り抑える 町長

経済波及効果は 一〇倍以上

北川 昨年、定例会で国民健康保険の滞納原因と町独自の減免策が必要だと訴えてきた。

これ以上の国保税引き上げは、命と健康を守る国民健康保険が命と暮らしを破壊する大変な事態になり、悪循環になってくる。

町長 主な原因は、平成20年度の退職者医療制度の改正等により保険給付費が急増したこと、さら

には企業の倒産やリストラ、就職難等により、保険税収が少なくなってきたことによる。

国保加入者の負担増をある程度お願いせざるを得ないが、できる限り抑える方向で進めたい。

北川 町の国保税引き上げ案は広域化を先取りした計画だ。広域化を問う。

町長 さまざまな心配、不安に対処し、議論の進捗状況を注視していく。

北川 福祉センター耐震部分の新館2階大広間をいかし、浴場を移動させる検討はされたか。

都市整備部長 細かくは検討していない。

北川 気軽に集える場所として、ほのぼの湯とセツトで残すべきで利用者の声も聞くべきだ。

都市整備部長 公園の補助事業を活用した温泉活用施設の整備計画を進めている。

北川 住宅リフォーム助成制度は全国で30の都道府県、180を超える自治体で実施され、経済波及効果は投資額の10倍から20倍にもなっている。

北川 保育所の民営化に伴い、有給休暇はとりやすい状態になっているか。

経済活性化の対策として研究し、町民も町の業者も助かる住宅リフォーム助成制度を創設せよ。

町民福祉部長 申し出に応じ、とりやすい環境を整えている。

現在の財政状況では対象としない

北川 保育所の人員に余裕があるとは思えない。

現在の財政状況では対象としない

町民福祉部長 しっかりとローテーションを組み、保育士不足はない。

都市建設課長 県内では実施している自治体はない。また、企業誘致及び定住促進等推進委員会では住宅の増改築における審議について、現在の財政状況では対象としない結果が出ている。

北川 資格のないパート職員を、23年度の早番、遅番に雇用できないか。

結果が出ている。

町民福祉部長 町の方針として、資格を持っていないパート職員は、平成23年度、雇用しない方針。



北川 悦子 議員



木陰で遊ぶ子どもたち (向栗崎保育所)



夷藤 満 議員

「自転車の日」を定めてはどうか

有意義であり可能性を探る 町長

夷藤 「自転車の日」を定め、町民挙げてイベントを開催してはどうか。

また昨年、小学校に1輪車を寄贈していただいた競輪の小嶋敬二選手を代表とする小嶋道場の皆さんに、観光大使をお願いし、内灘町を自転車愛好家の集う町として全国に広げられないか。



爽やかに疾走（昨年のツールドのと400）

町長 「自転車のまち」を標榜する当町にとつて大変有意義だ。小嶋道場の観光大使も、その可能性を探りたい。

また今年の9月開催のスポーツマスターズは、子供たちがサイクルスポーツに触れる絶好の機会なので、周知やPRに努め、商工会等とも連携し、町の魅力を発信する。

夷藤 将来オリンピックで活躍する姿を思い浮かべ、中学校に自転車部を創設してはどうか。

町長 自転車競技が中学校体育連盟の競技種目になく検討課題は多いが、関係方面と協議したい。

夷藤 心と体を鍛える面からも有効ではないか。

町長 町には自転車競技経験者や関係者が多く、本町を舞台に自転車に親しむ機会を提供したい。

夷藤 来年の町制50周年記念イベントは、町民の意見を参考にする考えはないか。

町長 未来へ向かい一歩を踏み出すためのイベントとなるよう、町民を交えた会議で検討したい。

夷藤 風の祭典や夏まつりでは、町民の生の声が寄せられているのか。

町長 いずれも実行委員会で関係団体から意見をいただいている。今後も誇れるイベントにしたい。

農業への支援策は

夷藤 河北潟での農業や酪農家に町独自の支援策はあるのか。

町は「癒（医）・農・知を基にした自然循環型まちづくり構想」を掲げている。地産地消の推進、消費者ニーズに応える戦略的な生産、流通、担い手の確保が一番の課題だ。

魅力ある農業の

構築を目指す

都市整備部長 町独自の戸別補償は考えていないが、担い手の育成が農業振興の重点課題。

酪農業と耕作者の連携を深め、加工品の開発や、PR、販売ルートの確保など、魅力ある農業の構築を目指したい。

夷藤 循環型農業について、担い手の指導は他の機関と連携をとる考えはないか。

都市整備部長 町だけの指導では力不足で、農協等の協力を仰いで連携して進める。

清水議員から町民参加型イベントについての関連質問がありました。

スポーツマスターズとは、35歳以上のシニア世代を対象としたスポーツの祭典で、2001年の宮崎大会から始まり、石川大会が11回目となる。大会は一部競技を除き9月17日から20日の4日間、県内13市町31会場で開催されます。

追跡

ありゃ～どうなったがいね～

全国・世界へ発信せよ

「平和の町＝内灘」は日本非核宣言自治体協議会に加盟し、全国そして世界に発信せよ。
平成 22 年 9 月議会

清水 文雄 議員

答 弁

加盟に向けて検討する

その後

加盟のための負担金予算を可決

平成 23 年度 6 月に協議会へ加盟するため、年間負担金 2 万円の予算を計上。

浅電の利用促進をはかれ

町としてどのような行動を起こしてきたのか。今後の取り組みを示せ。

平成 21 年 12 月議会

八田 外茂男 議員

答 弁

広域による地道な活動を続ける

その後

利用促進会議設立

平成 23 年 5 月 23 日に町会区長会、連合女性会を中心に設立。

6月	5月	4月	3月	2月	1月	12月
1日 議会運営委員会・広報対策特別委員会	26日 広報対策特別委員会	24日 議員年金制度研修会	20日 広報対策特別委員会	19日 議会運営委員会	18日 議員協議会	17日 各常任委員会・広報対策特別委員会
13日 第1回臨時議会（組織議会）	18日 広報対策特別委員会	19日 議会運営委員会	13日 各常任委員会・広報対策特別委員会	11日 議会運営委員会	7日 広報対策特別委員会	21日 全員協議会
2日 議員懇談会	28日 新人議員研修会	2日 3月定例会	2日 3月定例会	1日 加賀地区議会連絡会研修会	27日 鹿児島県始良市議会広報視察受入れ	
			22日 全員協議会	22日 議会運営委員会	22日 議会運営委員会	
			21日 議会運営委員会	21日 議会運営委員会	20日 総務常任委員会	
			17日 産業建設常任委員会	17日 産業建設常任委員会	19日 長野県喬木村議会広報視察受入れ	
			16日 総務常任委員会	16日 総務常任委員会	18日 議員協議会	
			15日 文教福祉常任委員会	15日 文教福祉常任委員会	17日 議会運営委員会	
			10日 福井県越前町議会広報視察受入れ	10日 福井県越前町議会広報視察受入れ	13日 各常任委員会・広報対策特別委員会	
			2日 議会運営委員会	2日 議会運営委員会	11日 議会運営委員会	
			1日 加賀地区議会連絡会研修会	1日 加賀地区議会連絡会研修会	7日 広報対策特別委員会	
					27日 鹿児島県始良市議会広報視察受入れ	
					22日 議会運営委員会	
					20日 総務常任委員会	
					19日 長野県喬木村議会広報視察受入れ	
					18日 議員協議会	
					17日 各常任委員会・広報対策特別委員会	
					13日 各常任委員会・広報対策特別委員会	
					11日 議会運営委員会	
					7日 広報対策特別委員会	
					21日 全員協議会	

議会活動の記録（12月定例会以降）

平成 22 年中に内灘町議会を傍聴された方は 217 人です。

3月定例会	69人	6月定例会	40人
9月定例会	59人	12月定例会	46人
第1回～2回臨時会	3人		

●町ホームページで、インターネット配信されています。

町議会Eメールアドレス gikai@town.uchinada.lg.jp 町ホームページ <http://www.town.uchinada.lg.jp>

議会録画を
ご覧下さい

内灘町をよりよくするために

今回紹介する方は、向粟崎の吉野正敏さんです。

◆内灘に住んで何年になりますか？



○生まれてずっとこの内灘町に住んでいます。年数をいうと年がわかってしまいますね。

◆子ども時代はどんな遊び、どんな町だったと思いますか？

○私の生まれる以前は栗崎遊園があつてにぎわっていたらしいですが、当時家も少なく海や河北潟、野原、丘、砂山、林等で小学校の1年生から6年生までの子どもたちが集団で自然を相手に遊びまわりました。夜は明かりも少なかったです。

◆当時と比べて町はどのように変わりましたか？

○住宅地がふえ、人口も増

加し、町並みも整備されきれいで住みやすくなりましたが、反面、時代の流れでしょうか。

子どもの時に慣れ親しんだ自然がだんだんなくなっていくのが非常に残念でさみしい思いがします。

◆内灘町の魅力をお聞かせください？

○なんととっても海と潟がある町でしょう。星も見え、素朴な土地柄でしょう。人間も温かく、皆を思いやる心があります。

◆議会を傍聴したことがありますか？

○まだありませんが、議会を一般の人でも傍聴することができるとわかったので機会があればぜひ拝聴したいと思います。

◆町への要望はありますか？

○社会貢献活動や子ども、高齢者、障害者、生活弱者の支援や、海抜の低い地区の水害対策等、自然を活かしつつ町民にとっても温かい町独自の対策を打ち出してほしいと思います。

インタビュー 酒本昌博

編集後記

このたびの東日本震災で被災されました皆様からお見舞い申し上げます。

5月1日から顔ぶれも新たに議会がスタートしました。石川県内でも平均年齢のいちばん若い議会となり「活力ある町づくり」を内灘町から発信できればと願っております。

町制施行50周年を目前に古き良き時代を振り返るとともに「新生内灘町」を目指し議会だよりが一人でも多くの皆様にご愛読いただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。

〔中島 利美〕

広報対策特別委員会

- 委員長 中島 利美
- 副委員長 北川 悦子
- 委員 藤井 良信
- 委員 酒本 昌博
- 委員 太田 臣宣

お見舞いは気持ちだけ

浜中 剛一



6月定例会のご案内

会期 6月7日(火)～6月16日(水)

- 7日(火) 本会議 (提案理由の説明)
- 9日(木)～10日(金) 本会議 (町政一般質問)
- 13日(月)～14日(火) 常任委員会議案審議
- 15日(水) 委員会議案審議
- 16日(木) 本会議 (委員長報告、質疑、討論、採決)